

社員対談 第4弾

若手4人の技術者に話を聞きました。

センシング事業部 × 測量部 × 開発事業部



Aさん

26歳(入社5年目)
県外高専卒業
センシング事業部
会社説明会を受け、
ワコーに興味を持ち入社



Bさん

22歳(入社5年目)
県内高校卒業
測量部
地域の人たちの為に
仕事がしたいと考え
ワコーに入社



Cさん

22歳(入社5年目)
県内高校卒業
センシング事業部
高校の先輩方が入社していて
担任の先生にも勧められ
興味を持ち入社



Dさん

26歳(入社5年目)
県外大学卒業
開発事業部
何十年も形に残る
ものづくりに携わりたいと考え
ワコーに入社

ー「4年間を振り返って」



Bさん

「入社した時は先輩の仕事を見て自分にできるのかみんなで話してたけど、だんだん出来ることが増えたなと実感する。」



Dさん

「例えば？」



Bさん

「例えば現場作業で山の中とかに入るとき、入社した頃より速く登れるようになってきたこと。」



 **A**さん 「後輩に仕事を教えてる時に、いつの間にか自分ができるようになってるってちょっと感動するよね。」

 **C**さん 「4年間早かった。」

一同 「確かに!」

 **C**さん 「最初はドローンを飛ばすだけかなと思っていたけど、意外とすることが多くて4年間あったけどまだまだ覚えることが多いなって思います。」

 **A**さん 「センシング事業部はやることが増えたよね。」

 **D**さん 「私もまだ業務の全貌が掴めてないかな、常に新しく変わっていくものもあるし。」

 **A**さん 「部署異動があったりしたけど、なんだかんだ面白かったんじゃないかな。どこに行ってもみんな話しやすいし、全体として楽しく過ごせたのはすげえ良かったと思う。Dさんは?」

 **D**さん 「私も部署が変わったんですけど、どっちも面白いなあって思うし広報委員会で会社説明をするときに両方の部署について話しやすいっていうのはある。」

 **B**さん 「4年間あつという間だったし、いつの間にか先輩になってたりするよね。」

ー「入社前と後でギャップがあったことは?」

 **C**さん 「建設業だからちょっと厳しいのかなとか、男性ばかりなのかなって思っていたけどみんな優しくかったです。」

 **B**さん 「それは思った!柔らかい雰囲気の人多いよね。でも、入社前に会社に来たときはみんな静かだったから少し怖かった笑」

 **D**さん 「うんうん、入社してみたら真面目に仕事をする人たちなんだって思った。」



 **A**さん 「誰もインターンとか来てないよね。Bさん以外はデザインとか電気の学科で仕事全然分からないまま入って、知らな過ぎてギャップがない。」

 **D**さん 「イメージがぼんやりしすぎてたね。社会人になって世知辛い世界になると思ったけど、そんなことは無かったかな。はじめは設計部に入って、ずっと社内で仕事するのかなって思っていたけど橋梁点検で現場に行って作業することもあったし、実際に構造物を近くで見たりするのは楽しかったかな。」

 **C**さん 「女性でも山に登ったりとかもありますね。」

 **B**さん 「測量でいったら基準点とか水準とか一通りやってきたけど、現場によって考えることがそれぞれ違うんだなっていうのはあった。学校だと測量ってこういうものっていう風にしか教わらないから、実際に入社したら測量の中にもいろんな測量があるんだっていう驚きはあった。」

ー「仕事をしているうえで、大切にしていること、やりがいを感じることは？」

 **A**さん 「大切にしている事でいうなら使うソフトとか仕事の目的とか自分が扱っているものは理解してやってる。成果を納めるときに自分が作ったデータを色々使われるからそれに責任を持つ必要があると思う。」

 **C**さん 「やりがいは友達とかに「何の仕事してるの？」って聞かれたときにドローン飛ばしてるんだ!って言ったときに「すごーい!」って言われることです。笑 その時にかっこいい仕事なんだって誇れます。」

 **B**さん 「実際に完成した道を通ったりしたときに、家族とか友達に言ったりするよね。」

 **D**さん 「ここの現場設計したんだよとかね。」

 **B**さん 「形に残る仕事だよね。他にも災害とかで崩れたものを復旧したりとか、「誰かがやらなきゃを自分がやってる」という特別感がある。」



一同

「おおー!いいね!」

  **さん** 「大切にしている事はどんな時でも初心を忘れないっていう事は大切にしてるかな。」

  **さん** 「初心とは？」

  **さん** 「入社したての謙虚な姿勢みたいなもの。自信を持つのが悪いわけじゃないけど、慣れてきた頃に失敗したりとかそういう時に入社した時の頃を思い出して引き締めてる。」

  **さん** 「私は自分が作業してもまず一旦自分で確認するのは挟みたいかな。慣れたが故のミスとかあるから。」

  **さん** 「初心に戻れたら後輩にも優しくできるし、経験談としてアドバイスできる。」

  **さん** 「分からないことをそのままにせず素直に聞く。もう4年経っているけど、分からないことはあるからちゃんと聞いて次に進もう!って感じです。」

  **さん** 「やっぱりどうしても自分でやって、行き詰ってしまう事あるし、そんな時に聞きづらいつと思ったこともないので、それがありがたいよね。」

ー「自分以外のみんなの褒めポイント」

  **さん** 「Dさんとは同じフロアで部長とかチームリーダーと仕事の話をスムーズにできて、仕事の理解度が高いのが見ててすごいと思う。」

  **さん** 「そんなに褒めてもらっていいんですか…! Bさんは評判がいいと思います! セミナーに行ったとき、もし後輩が仕事でミスをして指摘されたことについて落ち込んでいたらどんな声をかけるかというお題に対して、期待して色々言ってもらえてるから切り替えて次頑張ろう! ってBさんが答えていたのをみて、こんな先輩がいるチームで働きたいって思った。」

  **さん** 「優しいし、頑張ってるよね。」

  **さん** 「それはみんなもだよ。」



一同

「Bさんが先輩なら安心して働けるよね。ちゃんと見てくれるし。」



さん

「次は同じチームで働いてる二人の褒めあい合戦をお願いします笑」



さん

「Aさんは最初凄おしゃべりだから圧倒されたけど、仕事では分からないことはまず調べてみんなにもそれを共有してくれたり、ソフトにも強いからセンシング事業部には欠かせない人だと思いました。」



さん

「探究心は凄いと思う。」



さん

「センシングの仲がいいのは、はじめからいた部長とか先輩方の雰囲気がいいからだと思ってて、Cさんも優しくて場を明るくしてくれていてありがたい。」



さん

「Dさんも褒めます！一緒に仕事はしたことないけど、高校に会社説明に行ったときパワポの資料だけでなくDさんの言葉でも分かりやすく伝えていて、私もDさんの話を聞いてワコーっていい会社だなと改めて感じる事が出来ました。ありがとうございます。」



さん

「ありがとうございます！Cさんは話しかけやすい。あと、センシング事業部に初めて配属された女性で、その後入社した後輩の女性社員たちが今の環境で仕事を頑張っているのはCさんが下地を作ってくれたからだと思うので。素晴らしいと思います！」



さん

「うれしい！」



さん

「Aさんとは元々は設計部にいてそこからセンシング事業部と開発事業部に異動になった境遇は似てると思う。新しい部署でも自分らしく楽しそうに仕事してるのはいいんじゃないかな。」

ー「5年目以降の目標は？」



 **Aさん** 「とりあえずは資格をとりたいかな。資格手当もあるし笑 測量に携わっている身としては、測量士を将来取りたい。あと技術士補も。福利厚生で受験費用の補助もあるからチャレンジしやすいのはありがたい。今後社外の人が見たときに判断基準になるものは資格が一番わかりやすいので自分のためでもあるが、会社全体の向上にも繋がるから、やっぱ取っておいた方がいいよねって思う。」

 **Dさん** 「その通りだと思います。開発事業部も施工管理でドローンを飛ばせる人が求められているのでいつか一人で飛ばしに行けるようになったらいいなって思ってる。まだ触ったことはないけどね。持てたらいい資格は無限にあるよね。」

 **Cさん** 「まずは上司からの指示を待つんじゃなくて先を見通した動きが出来るようになりたいです。その次に、自分が誰かに指示を出すときに分からないということが無いように勉強していきたいです。」

 **Bさん** 「どんどん後輩が入ってきて人数が増えたので、上司・先輩と後輩の橋渡し役になってみんなが円滑なコミュニケーションを取れるよう自分から頑張っていきたい。」

一同 「やっぱり優しいね。」

 **Dさん** 「全部はまだ難しいけど、「この仕事ならDさんに任せられる」って言ってもらえるような自分の担当分野をつくれたらいいな。勿論一番いいのは全体が見えてることなんだけど、今の目標はそんな感じかな。」